

令和 8 年 度
(2 0 2 6 年度)

教育学部学校教員養成課程

総 合 型 選 抜 学 生 募 集 要 項

横浜国立大学教育学部

目 次

教育学部学校教員養成課程総合型選抜日程の概要	1
教育学部学校教員養成課程 案内.....	2
1. 募集人員	3
2. 出願資格及び要件	4
3. 出願手続	5
4. 出願及び受験にあたっての注意事項	10
5. 選抜方法及び合格者発表等	11
6. 入学手続	12
7. 不合格になった場合に備えての一般選抜への出願	13
8. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談	13
9. 入学検定料の返還	14
10. 入学決定後の留意事項	15
11. 個人情報の取り扱い	15
様式(専)H記入要領〔専門領域枠・保健体育専門領域〕	17
入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度	18
学生の住居施設	19
入学検定料 コンビニ支払方法のご案内	23
交通案内図	24
キャンパス案内図	26
不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供.....	27
問い合わせ先	28

<添付書式>

出願の際には地域教員希望枠または専門領域枠において、本学ウェブサイトから以下の様式をそれぞれ必要に応じダウンロードし、各自印刷して使用してください。様式の印刷は、「A 4 判」の「白色の用紙」に「片面（カラー印刷）」とします。指定の方法以外で印刷した書類は受理しません。

[地域教員希望枠様式一覧]

様式 ㊦ A 出願書類提出確認表〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ B 入学願書〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ C 写真票・受験票〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ D 自己推薦書（計 3 枚、D－1～3）〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ E 高大接続活動記録・高大接続活動記録補足資料〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ F 高大接続に関する課題レポート（計 5 枚、F－1～5）〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ G 入学検定料「収納証明書等」貼付用紙〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ H 受験票等送付用封筒ラベル〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ I 入試関係書類送付用ラベル〔地域教員希望枠〕

様式 ㊦ J 出願書類送付用封筒ラベル〔地域教員希望枠〕

[専門領域枠様式一覧]

様式㊦ A 出願書類提出確認表〔専門領域枠〕

様式㊦ B 入学願書〔専門領域枠〕

様式㊦ C 写真票・受験票〔専門領域枠〕

様式㊦ D 自己推薦書（計3枚、D－1～3）〔専門領域枠〕

様式㊦ E 高大接続活動記録・高大接続活動記録補足資料〔専門領域枠〕

様式㊦ F 高大接続に関する課題レポート（計5枚、F－1～5）〔専門領域枠〕

様式㊦ G 活動証明書〔専門領域枠・美術専門領域〕

様式㊦ H 競技歴証明書〔専門領域枠・保健体育専門領域〕

様式㊦ I 競技歴証明資料〔専門領域枠・保健体育専門領域〕

様式㊦ J 入学検定料「収納証明書等」貼付用紙〔専門領域枠〕

様式㊦ K 受験票等送付用封筒ラベル〔専門領域枠〕

様式㊦ L 入試関係書類送付用ラベル〔専門領域枠〕

様式㊦ M 出願書類送付用封筒ラベル〔専門領域枠〕

教育学部学校教員養成課程総合型選抜日程の概要



出願書類受付期間

令和7年（2025年）9月22日（月）～9月26日（金）

第1次選抜

令和7年（2025年）10月25日（土）

第1次選抜合格者発表

令和7年（2025年）11月4日（火）

第2次選抜

令和7年（2025年）11月22日（土）

第2次選抜合格者（最終合格者）発表

令和7年（2025年）12月1日（月）

入学手続受付期間

令和7年（2025年）12月3日（水）～12月9日（火）

教育学部学校教員養成課程 案内

1. 概要

教育学部学校教員養成課程は、教育に関わる諸課題を総合的かつ多角的な見地から理解できる教員、実践的かつ先進的な資質や能力を身につけた教員を養成し、すべての学生を教員として世に送り出すことを目標としています。神奈川県内唯一の国立大学教員養成系課程として、文明開化の地・横浜に位置する大学ならではの地域や世界とつながるカリキュラムや、様々な実習や現場体験の機会を揃え、県内各教育委員会等と連携した教員養成及び教員研修などを通じて、グローバルな視点から教育の未来を切り拓くことのできる人材を輩出することを目指します。

学校教員養成課程は、言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コースの3コースから編成されています。すべての学生は小学校教諭一種免許状取得が求められます。さらに、教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭科、英語）の専門領域では中学校教諭一種免許状の取得が、特別支援教育専門領域では特別支援学校教諭一種免許状の取得が必須です。入学後、様々な領域の内容に触れながら専門とする領域を選択し、選択後は専門領域に分かれて少人数の環境で学び、高度な専門性を身につけることができます。

2. 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

教育学部（学校教員養成課程）が求める学生像

教育学部の教育理念は、教育現場の未来を支えるべく、多面的かつ包括的な視野と洞察力とを兼ね備え、社会の変化に柔軟に対応できる次世代の教員養成を目指すことにあります。教育学部（学校教員養成課程）は、学校教育に関心が高く、教員として子供の学びへの支援の方法を能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する、次に示す人を求める。

- 教員として、子供とコミュニケーションをとりながら共に学び続けたい人
- 学校教育の充実、創造に貢献したい人
- 特別支援教育の充実、創造に貢献したい人
- 現代的な教育課題に対して、他者と協働的に広い視野に立った解決策を構想し実践したい人

教育学部（学校教員養成課程）が入学者に求める知識や能力・水準

教育学部（学校教員養成課程）が入学者に求める知識や能力・水準は次によるものとする。

- 子供と共に未来を切り拓いていくために、高等学校までに身に付けた知識・技能を現代的教育課題の解決に活用する力
- 高等学校までに身に付けた知識・技能を前提とし、現代的教育課題の解決に必要な視野の広い思考力・判断力・表現力
- 教員として子供と関わり、主体性を持って多様な人々と協働しつつ学ぶ態度やコミュニケーション能力

令和8年度（2026年度）横浜国立大学教育学部学校教員養成課程

総合型選抜学生募集要項

総合型選抜では、小・中・特別支援学校等の教員になることに強い意欲を持つ人を求めています。大学入学前から教員採用に至るまでの一貫した教員養成を目指し、地域や教育現場のニーズに対応しつつ現代の教育課題解決に取り組むことができる教員を継続的・安定的に養成するために、「地域教員希望枠」及び「専門領域枠」を設けています。

1. 募集人員

課程・コース・専門領域			募集人員	
学 校 教 員 養 成 課 程	コース	専門領域	専門領域枠	地域教員希望枠
	言語・文化・社会系教育コース	国語	4名	36名
		社会	4名	
		英語	4名	
		日本語教育	3名	
		教育学	4名	
	自然・生活系教育コース	数学	4名	
		理科	4名	
		技術	6名	
		家庭科	6名	
	芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	4名	
		美術	6名	
		保健体育	4名	
		心理学	5名	
		特別支援教育	6名	
	小計		64名	36名
	合計		100名	

〔注1〕「専門領域枠」で出願できるコース・専門領域は1つに限ります。

〔注2〕「地域教員希望枠」と「専門領域枠」の併願が可能です。併願する場合は、それぞれについての入学検定料が必要になります。

〔注3〕「地域教員希望枠」と「専門領域枠」を併願し、「地域教員希望枠」で合格した者は、「専門領域枠」については合否対象から除外します。

〔注4〕「専門領域枠」の合格者として入学した者は、入学後にコース・専門領域を変更できま

せん。〔地域教員希望枠〕の合格者として入学した者は、入学後第1学年の10月頃までにコース・専門領域を決定します。この決定は、〔専門領域枠〕の併願の有無や〔専門領域枠〕で出願したコース・専門領域にかかわらず、本人の希望及び入学後の学修状況を基に行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には選考試験を行います。

〔注5〕選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続きが募集人員に満たなかった場合には、一般選抜前期日程の合格者で補充します。

2. 出願資格及び要件

次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

【基礎資格】

次の（１）、（２）のいずれかに該当する者

- （１）高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年（2026年）3月までに卒業見込みの者
- （２）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年（2026年）3月までに修了見込みの者

【要件】

共通：次の（１）～（４）を全て満たす者

- （１）児童・生徒の育成に熱意を持つ者
- （２）調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
- （３）合格した場合には、本学に入学することを確約できる者
- （４）小・中・特別支援学校等の教員就職を希望する者

〔地域教員希望枠〕の志願者のみ：

- （１）～（４）を全て満たし、かつ、次の（５）及び（６）を満たす者
- （５）神奈川県内の教員就職を希望する者（出身地は問わない）
- （６）高大接続活動として、本学教育学部の開講する「YNU 教職セミナー」（教育学部開講の旧高校生授業等体験プログラム及び旧公開講座を含む）又は神奈川県内の教育委員会が開講する「教職セミナー」等に参加し、受講したことを証明する書類を提出できる者、あるいは、神奈川県内の高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）において「教職コース」等を履修し、単位を修得した者

〔専門領域枠〕の志願者のみ：

- （１）～（４）を全て満たし、かつ、次の（７）を満たす者
- （７）高大接続活動として、全国の教員養成系大学・学部や教育委員会が開講する「教職セミナー」等に参加し、受講したことを証明する書類を提出できる者、あるいは、全国の高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等において「教職コース」等を履修し、単位を修得した者

さらに、〔専門領域枠〕の英語、美術、保健体育の各専門領域の志願者は次の（８）も満たすこと。

（８）専門領域が求める以下の提出書類等の要件を満たす者

英語専門領域：

出願時前２年以内の外部試験の合格証明書又はスコア証明書等を提出できる者。

美術専門領域：

本人が高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等在学中に授業等で制作した美術作品又は本人が企画運営等を行った美術活動等に関する資料を提出できる者。

保健体育専門領域：

高等学校等入学若しくは中等教育学校（後期課程）進級以降にスポーツ、武道、ダンスのいずれかで成果を上げた者。なお、都道府県大会以上の大会に出場した経験のある場合は、それを証明する資料のコピーを提出すること。

〔注〕〔専門領域枠〕の必要となる出願書類の詳細については、「３．出願手続（３）出願に要する書類等 ⑧専門領域別に必要となる書類〔専門領域枠〕」（７～９ページ）を参照してください。

３．出願手続

（１）出願方法

入学志願者は、（３）の「出願に要する書類等」を一括して出願してください。出願は、各自が用意した角形２号封筒（２４０mm×３３２mm）の表面に「出願書類送付用封筒ラベル」（様式 $\textcircled{\text{地}}$ J〔地域教員希望枠〕・様式 $\textcircled{\text{専}}$ M〔専門領域枠〕）を貼り付け、志願者本人が書留速達で郵便局の窓口から発送してください。受付は郵送に限ります。

〔注１〕併願者は、〔地域教員希望枠〕と〔専門領域枠〕の封筒それぞれを別々に郵送してください。

〔注２〕自然災害等の被災の影響により、調査書の発行に支障がある場合には、出願書類受付期間前に教育学系事務部学務係（２８ページ）に相談してください。

（２）出願書類受付期間

令和７年（２０２５年）９月２２日（月）～９月２６日（金）【９月２６日（金）１７時必着】

〔注〕出願書類は郵送（書留速達）扱いのみ受理し、出願書類受付期間後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。ただし、９月２５日（木）までの発信局消印のあるもの（書留速達）に限り、出願書類受付期間後に到着した場合でも受理します。土曜日、日曜日、祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。なお、郵便局で引き受けの際に発行される受領証は、受験終了後まで各自で保管してください。

（３）出願に要する書類等

出願に必要な書類等で、所定の様式で作成・提出する必要があるものについては、本学ウェブサイトから様式 $\textcircled{\text{地}}$ A～ $\textcircled{\text{地}}$ J〔地域教員希望枠〕あるいは様式 $\textcircled{\text{専}}$ A～ $\textcircled{\text{専}}$ M〔専門領域枠〕をダウンロードし、各自印刷して使用してください。出願書類等への記入の際は、様式 $\textcircled{\text{専}}$ G及び $\textcircled{\text{専}}$ H〔専門領域枠〕を除き、消せない黒のボールペンを用いて、志願者本人が手書きで行ってください。所定の様式の印刷は、「Ａ４判」の「白色の用紙」に「片面（カラー印刷）」とします。指定以外の方法で印刷したものは受理しません。

① 出願書類提出確認表〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

出願前に、②以下の提出書類が揃っていることを、様式^④A〔地域教員希望枠〕・様式^⑤A〔専門領域枠〕を使って志願者本人が確認し、出願書類の表紙として提出してください。

② 入学願書〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

様式^④B〔地域教員希望枠〕・様式^⑤B〔専門領域枠〕に必要事項を記入してください。出願書類受理後は、志願するコース・専門領域の変更を認めません。

③ 写真票・受験票〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

様式^④C〔地域教員希望枠〕・様式^⑤C〔専門領域枠〕に必要事項を記入し、出願前3か月以内に撮影した、正面・上半身・無帽の写真（縦4cm×横3cm同一のもの2枚）の裏面に氏名を記入し、所定欄に貼付してください。

④ 調査書等〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

ア. 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者及び令和8年（2026年）3月31日までに卒業見込みの者は、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。ただし、外国の学校から日本の高等学校等に編入学をした者は、在籍した外国学校（高等学校相当）の成績証明書も併せて提出してください。

イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（見込みを含む。）は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものを提出してください。

〔注〕事情により、調査書が得られない場合には、出願期間前に教育学系事務部学務係までご相談ください。

〔注〕「4. 出願及び受験にあたっての注意事項」（10ページ）を併せて確認してください。

⑤ 自己推薦書〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

様式^④D-1～3（計3枚）〔地域教員希望枠〕・様式^⑤D-1～3（計3枚）〔専門領域枠〕を用いて、以下のア・イ・ウの3点について、1,000字以内で分かりやすく記述してください。志願者本人が自分で内容を考えて手書きした文章であること。指導者及び生成AI等が作成した文章の一部又は全部を使用することを禁じます。

〔地域教員希望枠〕

ア. 神奈川県内の教職を目指す理由

イ. 教職を目指すあなたの特筆すべき資質や適性

ウ. 神奈川県内の地域における教育課題に取り組むために、これまでに学習してきたこと、入学後に特に学びを深めたいこと

〔専門領域枠〕

ア. 志願する専門領域において教職を目指す理由

イ. 教職を目指すあなたの特筆すべき資質や適性

ウ. 志願する専門領域に関して、これまでに学習してきたこと、入学後に特に学びを深めたいこと

⑥ 高大接続活動記録・高大接続活動記録補足資料〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

教職を目指すためにこれまで行ってきた高大接続活動の内容を、様式^④E〔地域教員希望枠〕・様式^⑤E〔専門領域枠〕を用いて、〔記入例〕を参考に記述し、加えてそれを証

明する資料をA4判の用紙にコピーし、資料番号を書き込んだうえで添付してください。
分類欄には、以下のア・イ・ウを記入してください。

〔地域教員希望枠〕

- ア. 本学教育学部の開講する「YNU 教職セミナー」（旧高校生授業等体験プログラム及び旧公開講座を含む）への参加
- イ. 神奈川県内の教育委員会が開講する「教職セミナー」等への参加
- ウ. 神奈川県内の高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）における「教職コース」等の履修

〔専門領域枠〕

- ア. 教員養成系大学・学部が開講する「教職セミナー」等への参加
- イ. 教育委員会が開講する「教職セミナー」等への参加
- ウ. 高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等における「教職コース」等の履修

⑦ 高大接続活動に関する課題レポート〔地域教員希望枠・専門領域枠〕

様式④ F-1～5（計5枚）〔地域教員希望枠〕・様式⑤ F-1～5（計5枚）〔専門領域枠〕を用いて、以下のアについて500字以内で、イについて1,000字以内で分かりやすく記述してください。志願者本人が自分で内容を考えて手書きした文章であること。指導者及び生成AI等が作成した文章の一部又は全部を使用することを禁じます。

〔地域教員希望枠〕

- ア. これまでに参加した高大接続活動の中で、教職を目指すにあたって最も印象に残った講座の具体的な内容
- イ. これまでに参加した高大接続活動に基づいて考えた、地域に根ざした教員に求められる具体的役割

〔専門領域枠〕

- ア. これまでに参加した高大接続活動の中で、教職を目指すにあたって最も印象に残った講座（志願する専門領域に関わる内容のものがあればそれが望ましい）の具体的な内容
- イ. これまでに参加した高大接続活動に基づいて考えた、志願する専門分野を学んだ教員が教育活動の中で果たすべき役割

⑧ 専門領域別に必要となる書類〔専門領域枠〕

ア. 美術専門領域

- a. 活動証明書（様式⑥ G、学校長及び記載責任者の押印が必要）（Word形式の様式ファイルも本学ウェブサイトで提供しています）学校教職員等が記載責任者となること。
- b. 志願者本人による以下の①②のいずれか若しくは両方をファイル一冊にまとめたもの
 - ① 高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等在学中に本人が制作した3点以上の美術作品（授業作品も可）を撮影した写真を提出すること。写真は作品毎に撮影しそれぞれA4判に印刷したもの
 - ② 高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等在学中に本人が企画運営等行った美術活動に関する資料

〔注1〕 本人が制作した美術作品や、美術に関する実践活動、美術展のサポーター等広い意味での表現活動（美術、映像、企画運営等）の資料等であり、学校内

外、入賞等の有無、既発表・未発表は問いません。

〔注2〕提出されたbのファイルは返却しません。

イ. 家庭科専門領域

- a. 高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等在学中に家庭科に関連する研究やホームプロジェクトに取り組んだ者は、その内容がわかる資料（A4判で様式任意、字数制限なし）
- b. 高等学校等入学若しくは中等教育学校（後期課程）進級以降に家庭科に関連する資格（技術検定など）を取得している者は、それを証明するもの（A4判のコピー1部、白黒でも可）

〔注1〕提出されたa及びbの資料は返却しません。

ウ. 英語専門領域

- a. 出願時前2年以内の外部試験の合格証明書又はスコア証明書の原本1部とコピー1部〔英検〔従来型、S-CBT〕、TOEFL〔iBT（Home Edition及びペーパー版テスト（Paper Edition）を含む）、ITP（団体向けテストプログラム）〕、TOEIC〔公開テスト、IP（団体特別受験制度）〕、IELTS（Academic Module）※IELTS Onlineを含む、GTEC（4技能）のいずれか1つ〕

具体的には「外部試験の合格証明書及びスコア証明書対応表」を参照のこと。

- b. 高等学校若しくは中等教育学校（後期課程）等在学中に学校内外で行った英語に関する活動（海外研修・英語ディベート入賞等）経験がある場合はその証明書（様式は任意、本人又は学校教職員等が記載し学校長の押印が必要）

〔注1〕合格証明書又はスコア証明書の原本1部は、A4判のクリアファイルに入れて提出してください。書留で郵送により返却しますので、送付先を記載し、送料分（書留料金分）の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

〔注2〕コピー1部は、A4判の用紙で用意してください。白黒でも可。

〔注3〕合格証明書又はスコア証明書は発行に時間がかかることがあります（詳細は、発行機関に問い合わせてください）。早めに準備を開始してください。なお、出願期間内に合格証明書又はスコア証明書が提出されなかった場合は、出願を無効として出願書類を返却することがありますので十分注意してください。

外部試験の合格証明書及びスコア証明書対応表

対象の英語外部試験	提出書類
英検（従来型、S-CBT）	合格証明書又は英検 CSE スコア証明書の原本と、そのコピー1部。また、デジタル合格証明書又はデジタル英検 CSE スコア証明書を利用する場合は、入学願書に書かれた「フリガナ」と同じく入学願書の備考欄「*英語専門領域 特記事項」に書かれた「デジタル証明書共有キー」を利用して閲覧・検証しますので間違いのないよう英数字等を丁寧に記入してください。
TOEFL-iBT〔Home Edition 及びペーパー版テスト（Paper Edition）を含む〕	Test Taker Score Report の原本と、そのコピー1部 ※「Test Date スコア」を採用する（「My Best スコア」は受け付けない）。
TOEFL-ITP	Score Report のA4判のコピーの余白部分に出身学校

(団体向けテストプログラム)	(団体受験実施校)の公印を受けたもの(これを「原本」として扱う)と、そのコピー1部
TOEIC 公開テスト	Official Score Certificateの原本と、そのコピー1部 ※TOEIC L&R の受験結果「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本。また、日本で受験した場合は、TOEIC L&R の受験結果「QR コード付きデジタル公式認定証」の提出も認めます。デジタル公式認定証に表示されているQRコードを用いてその真正性を確認します。TOEIC デジタル公式認定証をプリントアウトして提出してください。
TOEIC-IP (団体特別受験制度)	Score Report のA4判のコピーの余白部分に出身学校(団体受験実施校)の公印を受けたもの(これを「原本」として扱う)と、そのコピー1部
IELTS (Academic Module) ※ IELTS Onlineを含む	Test Report Formの原本と、そのコピー1部
GTEC (4技能)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (4技能)の原本とそのコピー1部

エ. 保健体育専門領域：

競技歴証明書(様式㊦H、記載責任者の押印が必要)及び競技歴証明資料(様式㊦I)(様式㊦Hと㊦IのWord形式の様式ファイルも本学ウェブサイトを提供しています)高等学校等入学若しくは中等教育学校(後期課程)進級以降に保健体育専門領域に関する実績や受賞歴等があれば様式㊦Hに記入し、それを証明する資料のコピーを様式㊦Iに添付してください。団体競技の場合は、志願者が競技に参加したことを証明できるものを添付してください。都道府県大会以上の大会への出場がある場合は、それを証明する資料のコピーを添付してください。学校教職員等が記載責任者となること。

⑨ 入試関係書類等送付用ラベル

様式㊦I〔地域教員希望枠〕・様式㊦L〔専門領域枠〕に「入学願書」記載の住所・氏名を3か所とも記入してください。

(4) 入学検定料

- ① 払込金額：17,000円(〔地域教員希望枠〕・〔専門領域枠〕の併願者は、それぞれに17,000円が必要です。)
- ② 払込期間：出願書類受付期間(5ページ)に間に合うように払い込んでください。
- ③ 払込方法：コンビニエンスストアからの払込
 - ア. セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップで支払うことができます。店内にある情報端末機を操作の上、必ずレジにてお支払いください。
(ATMでは振り込みできません。)
 - イ. 情報端末機の操作手順は、「入学検定料コンビニ支払方法のご案内」(23ページ)を参照してください。
 - ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

[注] 本学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサ

イトに掲載している『横浜国立大学入学者選抜における災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について』をご確認ください。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/pdf/saigai.pdf>

(5) 受験票の送付

出願書類を受理した者に対して、「受験票」とともに「総合型選抜受験上の注意」を郵送します。10月10日（金）までに、本学が発行する受験票が手元に届かない場合、不明な点がある場合は教育学系事務部学務係（28ページ）に問い合わせてください。

4. 出願及び受験にあたっての注意事項

- (1) 出願後は、書類の内容についての変更は認めません。
- (2) 出願書類に不備がないように十分に注意してください。出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。なお、提出された出願書類は、返却予定が明記されているものを除き、一切返却しません。
- (3) 指導要録の保存期間の経過、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、出願期間前に教育学系事務部学務係までご相談ください。
- (4) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した内容の成績は無効とします。
 - ① カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
 - ② 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
 - ③ 試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ④ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等を使用すること。※使用を許可されたものを除く。
- (5) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記（4）と同じです。
 - ① 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類や定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙等の補助具、教科書・参考書・辞書等の書籍類等をカバンの中に入らず、身に付けていたり手に持っていたりすること。※使用を許可されたものを除く。
 - ② 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ③ 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
 - ④ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (6) 出願書類に虚偽の記載があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出す

る場合があります。

- (7) 出願の際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書及び入学許可書には、出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。
- (8) 総合型選抜合格者が入学手続受付期間内（12ページ）に入学手続を完了しない時はその総合型選抜合格者としての資格を失います。
- (9) 総合型選抜についての不明な点は、教育学系事務部学務係（28ページ）に照会してください。

5. 選抜方法及び合格者発表等

(1) 選抜方法

入学者の選抜は「地域教員希望枠」・「専門領域枠」のそれぞれについて第1次選抜と第2次選抜を行います。

① 第1次選抜

出願書類の審査、高大接続活動に関する評価及び小論文試験により総合的に評価し、第1次選抜合格者を決定します。小論文試験は、学校教育をめぐる今日の課題に取り組む力を問う出題とします。

② 第2次選抜

ア. 第1次選抜合格者に対し、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。小・中・特別支援学校等の教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価し、最終合格者を決定します。ただし、「専門領域枠」のうち、英語、音楽、保健体育の各専門領域の志願者については、以下に示す評価対象が追加されます。

- ・英語専門領域：面接時の英語運用能力
- ・音楽専門領域：聴音〔2声の書き取り（大譜表、8小節程度）〕の実技能力
- ・保健体育専門領域：提出されたスポーツ、ダンス、武道のいずれかの成果

イ. 「専門領域枠」のうち、次の専門領域の志願者は、面接において以下の点に留意すること。

- ・社会専門領域：以下の指定文献に関する内容について質疑を追加して行います。

筒井淳也『社会を知るためには』ちくまプリマー新書 2020年

- ・英語専門領域：面接の一部を英語で行います。
- ・数学専門領域：子供たちが学ぶ算数・数学に関する事項についての質疑を追加して行います。

ウ. 本選抜では、大学入学共通テストは課しません。個別学力検査も行いません。第2次選抜合格者が最終合格者となります。

エ. 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続者が募集人員に満たなかった場合には、一般選抜前期日程の合格者で補充します。

(2) 選抜日程及び試験場

受験者は、受験票、筆記用具及び昼食・飲み物等を持参の上、集合時間までに試験場に集

合してください。〔詳細（集合時間等）は、受験票送付時に本人宛に通知します。〕

選抜	区分	選抜期日	試験場	試験内容
第1次選抜	地域教員希望枠	令和7年（2025年） 10月25日（土）	横浜国立大学 教育学部 (常盤台キャンパス)	書類審査 小論文
	専門領域枠			
第2次選抜	地域教員希望枠	令和7年（2025年） 11月22日（土）		個人面接 聴音(音楽のみ)
	専門領域枠			

〔注〕小論文及び面接試験が終了するまで、控室又は試験室から退出できません。第2次選抜において、面接時間までの待機時間が長くなる場合があります。

（3）合格者発表

各選抜の合格者発表及び最終合格者発表については、以下の期日の12時頃、本学ウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は、合格者発表日から概ね4日間程度です。電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>

① 第1次選抜合格者発表

合格者発表日 令和7年（2025年）11月4日（火）12時頃

本学ウェブサイトにも合格者受験番号を掲載するとともに、受験者全員に郵便にて合否を通知します。

② 第2次選抜合格者（最終合格者）発表

合格者発表日 令和7年（2025年）12月1日（月）12時頃

本学ウェブサイトにも合格者受験番号を掲載するとともに、最終合格者のみに合格通知書と入学手続書類を郵送します。

（4）入試問題の正解・解答例等の情報開示

入試問題（面接試験を除く）の正解・解答例又は出題意図を、本学のウェブサイトにも合格者発表後概ね14日間程度開示します。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/public/index.html>

6. 入学手続

（1）入学手続

① 入学手続方法と受付期間

総合型選抜の合格通知を受けた者は、下記の期間内に入学手続を行ってください。入学手続受付期間内に手続を行わない場合は入学を許可しません。

入学手続受付期間：**令和7年（2025年）12月3日（水）～12月9日（火）**

② 入学手続に必要な経費

入学金 282,000円 【現行】

③ 入学後に必要な経費

授業料 春学期分 267,900円 【現行】

秋学期分 267,900円 【現行】

(年 額 535,800円) 【現行】

〔注1〕入学手続の詳細は、合格通知書とともに郵送する入学手続の案内資料で確認してくだ

さい。

[注2] 総合型選抜の合格者が入学手続を完了した時は、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う国公立大学・学部を除く。以下同じ。）の一般選抜を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

[注3] 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

[注4] 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

[注5] 入学料・授業料以外の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、TOEFL-ITP 受験料（必修英語科目の習熟度別クラス編成及び単位認定に利用）、校友会費・同窓会費の納付についての案内を、入学手続時にお知らせします。

（2）入学辞退手続

特別の事情により入学辞退を希望する場合は、令和8年（2026年）2月18日（水）までに「総合型選抜入学辞退願」（横浜国立大学長宛、任意様式、合格者本人が署名・捺印したもの）を教育学系事務部学務係（28ページ）に送付し、その許可を得た場合に限り入学辞退が認められます。この手続をとらずに、出願済みの他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりませんので注意してください。

なお、入学及び入学辞退のいずれの手続も行わないということのないようにしてください。

7. 不合格になった場合に備えての一般選抜への出願

総合型選抜出願者は、不合格となった場合に備えて、一般選抜（「前期日程」、「中期日程」及び「後期日程」の合計3つの国公立大学・学部）にも出願することができます。

なお、一般選抜に出願する際は大学入学共通テストの指定教科・科目の受験等、志望する大学・学部の出願要件に留意してください。

8. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の（1）～（4）の内容を確認したうえで、次の様式例を参考にして事前相談申請書を作成し、教育学系事務部学務係（28ページ）へ送付してください。

（1）原則として令和7年（2025年）8月29日（金）までに申し出てください。

事前相談をしても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。

（2）本学で相談内容を審査したうえで、配慮事項の審査結果を郵送で通知します。

（3）上記（1）の期限後でも相談を受け付けます。不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、速やかに申し出てください。

（4）相談の内容や時期によっては、希望どおりに配慮ができない場合や、出願期間終了時までには配慮事項を決定できない場合があります。可能な限り早い時期に申し出てください。

		令和 年 月 日
横浜国立大学長 殿		
		フリガナ
		氏 名
		生年月日
		住 所
		電話番号
		E-mail
横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。 記 1. 志願する学部・課程・コース・専門領域 2. 出願を予定している入試 3. 障がい等の種類・程度 4. 受験上の配慮を希望する事項・内容 5. 修学上の配慮を希望する事項・内容 6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容 ※定期試験等についても記入 7. その他 (添付書類) 医師の診断書 (原本又は写し) その他参考資料		

9. 入学検定料の返還

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済みの入学検定料は返還しません。

- ① 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学教育学部学校教員養成課程総合型選抜に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった)、又は出願が受理されなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

返還を請求する場合は、以下のア～オの項目を明記した入学検定料返還請求書 (様式は問いません。) を作成し、「収納証明書等」を添付して、速やかに教育学系事務部学務係 (28 ページ) へ郵送してください。

- ア. 返還請求の理由
- イ. 氏名 (フリガナ)
- ウ. 現住所
- エ. 連絡先電話番号
- オ. 試験の種類

[注] 日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料は志願者負担となります。

10. 入学決定後の留意事項

(1) 入学前の学習指導

合格者発表後、入学前に学習指導を行う場合もあります。その場合には、合格通知の郵送とともにお知らせします。

(2) 教育職員免許状について

教育学部では、教育職員免許状（小学校教諭一種）の取得が卒業要件です。さらに、教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭科、英語）の専門領域では中学校教諭一種免許状の取得が、特別支援教育専門領域では特別支援学校教諭一種免許状の取得が必須です。また、本人の希望により、専門領域の枠を超えて、以下の免許状を取得することができます。

① 中学校教諭一種／二種免許状

（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）

② 高等学校教諭一種免許状

（国語、書道、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語）

③ 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）／二種免許状

（知的障害者、肢体不自由者）

(3) 教育学部における修学上の留意事項

教育職員免許状の取得のためには、介護等体験、教育実習等が必須となっています。これらの体験・実習を行うにあたり、入学後に「麻疹の抗体を有していること」又は「麻疹の予防接種を2回受けていること」を証明する書類の提出を求めます。

詳細は本学部ウェブサイトを確認してください。

<https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/>

11. 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等（教育学部の個別学力検査等に関する提出書類を含む）に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

① 合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付、生協資料の送付）及び入学手続業務

② 入学後のクラス編成及び各種制度の対象者本人の申請に基づく入学料免除・授業料免除等の福利厚生事業

③ 入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）

④ 本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）

⑤ 入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続に必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。

それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (3) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

様式㊦ H記入要領〔専門領域枠・保健体育専門領域〕

様式㊦ Hは、出願要件の保健体育に関わる内容、又はその分野において特に優れた能力を有する者の運動特技について、記載責任者（学校教職員等）が次の要領により責任を持って記入してください。

- (1) 出身学校については、国立、公立、私立のいずれかを○で囲んでください。
- (2) 特技とする運動種目の欄は、例えば陸上競技（走高跳）、水泳（自由形・短距離）、スキー（回転）、バレーボール（セッター）、ラグビー（ウイング）、剣道（2段）等のように具体的に記入してください。
- (3) 競技歴の欄には、高等学校等入学若しくは中等教育学校（後期課程）進級以降に実際にプレーした大会・競技会について、良い成績・記録5件を該当する欄に上位の大会から記入してください。また、その事実を証明できる資料を、証明資料作成上の注意事項をよく読んだ上で、様式㊦ Iに貼り付けてください。ダンス等記録で表しにくい種目は、発表会や受賞名等を具体的に記入し、その事実を証明できる資料を様式㊦ Iに貼り付けてください。大会のプログラムに名前が記載されていても、実際に試合やコンクール等でプレーしていない場合は、記入できません。
- (4) 備考欄は、下記に示す運動種目別の記入要領に従って記入してください。なお、2・3年生になってからの大会が中止となってしまった者については、昨年度までの実績等に基づき、どのような見通しを持っていたかについて、様式㊦ Hの「備考」欄に記入してください。
- (5) 記載責任者氏名の右欄の（志願者との関係）については、具体的に記入してください。

【体操競技】

公式競技会の試合内容や各器械種目の技能習得状況を記入してください。

【陸上競技】

専門種目に次ぐ得意な種目名と、その学年ごとの最高記録を記入してください。

【水泳】

水泳の技能について具体的に説明してください。

【ダンス】

ダンス活動歴（学内ダンス研究所等の学外活動を含む）について記入してください。

【球技】

- ① 試合の組合せで、初期に優勝チームと対戦したり、個人の技能は優秀であったりしても、チーム全体のレベルが低いために、本人の技能が正当な成績となっていない場合は、その技能を具体的に説明してください。
- ② チームとしての成績以外に、個人として賞を受けたり、県や地区、全日本等の強化合宿へ参加したりした場合も記入してください。
- ③ テニス・卓球・バドミントンは、単・複・団体にわたって、主たる成績を記入してください。

【柔道】

特技とする運動種目の成績・記録の欄に記入した大会の全てについて、特筆すべき試合内容又は技能があれば、補足説明してください。

【その他の種目】

上記に示されていない運動種目を特技とする者は、上記の記入要領を参照し、本人の技能程度を判別できるよう具体的に説明してください。

入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度

本学での入学料及び授業料の減免については、原則として、(独)日本学生支援機構による「高等教育の修学支援新制度」に基づき支援を行います。

意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯および多子世帯（扶養する子どもが3人以上いる世帯）の学部生（留学生を除く）を対象として、

- (独)日本学生支援機構が行う「給付奨学金」 ※原則として返還不要
- 大学が行う「授業料減免」
- 大学が行う「入学料減免」 ※新入生のみ（1回限り）

を合わせて支援する制度です。

「給付奨学金」に申し込むことで、「入学料減免」「授業料減免」の支援も受けることができます。学業成績・学修意欲等に係る基準、家計の経済状況（マイナンバーに紐づく公的な所得情報で審査）に係る基準、その他の基準（大学等への入学時期等、在留資格等の基準）を全て満たす学生全員が支援を受けられます。

令和7年度（2025年度）から始まった、多子世帯（扶養する子どもの数が3人以上いる世帯）を対象とした授業料等無償化の制度も、この「給付奨学金」の一環として実施されますので、多子世帯に該当する方でこの支援を希望する場合は、「給付奨学金」に申し込む必要があります。なお、多子世帯の学生の「入学料減免」

「授業料減免」の支援については、所得の制限なく支援が受けられます。（ただし、多子世帯であっても学業成績・学修意欲等に係る基準、大学等への入学時期等、在留資格等のその他の基準は満たす必要があります）

「給付奨学金」に申し込む場合（大学入学後の申し込みを検討している場合や、高等学校等在学中に「予約採用」の手続きを行っている場合も含む）、入学料・授業料の納付期日が免除結果発表（入学後の7月末頃予定）後まで猶予されますので、入学手続時点では入学料を納付せず入学手続を完了させることができます。この場合、入学手続時に入学料免除・徴収猶予の仮申請手続等が必要ですが、詳細は合格者へ案内する入学手続書類にてお知らせします。（ただし、入学料免除・徴収猶予の仮申請手続を行って入学料を納付せず入学手続を完了させた後に、他大学へ進学するなどの理由で本学への入学の辞退を希望する場合、入学辞退を申し出た時点で入学料免除・徴収猶予への仮申請は無効となり、入学料未納者として入学料の納付義務が生じます。）

本学における「高等教育の修学支援新制度」の申請時期、申請方法などの詳細については、合格者へ案内する入学手続書類にてお知らせします。

なお、制度の詳細については、以下のウェブサイト等にてご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度【文部科学省ウェブサイト】 https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm
○令和7年度からの多子世帯の学生等に対する大学等の授業料・入学金の無償化等について【文部科学省ウェブサイト】 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/
○奨学金の制度（給付型）【(独)日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト】 https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html
○進学資金シミュレーター【(独)日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト】 （給付奨学金の該当区分や支援額についてシミュレーションすることができます） https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/
○横浜国立大学独自の入学料・授業料免除制度【横浜国立大学 学生支援課ウェブサイト】 https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/folder1/

本件問い合わせ先 学務・国際戦略部 学生支援課 経済支援係（学生センター2階1番窓口）
窓口時間：8：30～12：45／13：45～17：00（土・日・祝日除く）
TEL：045-339-3113 メール：gakusei.keizai@ynu.ac.jp

学生の住居施設

2026 年春季募集

※出願や合格発表より前に入居申請手続きが必要となる場合があります。

申請期間の詳細は、各寮のウェブサイトを確認するか、各「お問い合わせ先」に確認してください。

1. 学生寮について

横浜国立大学には、学生生活をサポートする3つの学生寮があります。「峰沢国際交流会館」、「常盤台インターナショナルレジデンス」、「大岡インターナショナルレジデンス」は、日本人学生と外国人留学生が共同生活を通して異文化交流を体験できる寮です。峰沢国際交流会館は横浜国立大学学務・国際戦略部学生支援課が、常盤台インターナショナルレジデンスと大岡インターナショナルレジデンスは民間会社が管理運営をしています。なお、記載されている寄宿料・共益費の金額は改定する場合があります。

(1) 峰沢国際交流会館

キャンパス至近の寮。東通用門から徒歩5分。日本人 222 名、外国人留学生 110 名が居住可能。

居住棟:A棟(男子:1・2階 62 室、女子:3・4階 58 室)、B棟(男子棟、5階建、140 室)、C棟(女子棟、3階建、72 室)

共用棟:3階建

居住棟	居室	全室個室、ベッド、机、デスクライト、椅子、エアコン、ユニット型洗面・トイレ、ブラインド、電話端子、テレビ共聴アンテナ端子、インターネット
	共通施設	補食室(流し台、コイン式ガスコンロ、食器棚、瞬間湯沸器、電子レンジ、トースター、冷蔵庫)、コイン式シャワー室、郵便受け、自動販売機(B棟のみ)
共用棟	1 階	交流室、男子洗濯室(コイン式)、女子洗濯室(コイン式)、自動販売機
	2 階	事務室、ホール
	3 階	会議室、ラウンジ、ホール

【日本人学生】

① 入居資格:本学の学部・大学院に在学する正規生

***既に峰沢国際交流会館に2年間入居した者は除く。**

② 入居期間:2 年以内

③ 選考・決定方法:2025 年10月または2026年 4 月入学生で本学が定める収入基準を下回り、かつ、通学所要時間が 1 時間 30 分以上の者を優先して選考を行います。

入居有資格者の応募が入居定員を超える場合は、抽選を行います。

入居当選発表は、一般入試前期日程及び後期日程の合格発表日に学生支援課ウェブサイトで行います。

***収入基準を上回る者でも申請可能です。**

***優先順位等の選考基準については募集要項で確認してください。**

④ 入居者の経費負担:電気、水道、ガス等の料金は別途負担

部屋の種類	寄宿料(月額)	共益費(月額)	合計
単身室(12 m ²)	5,700 円	5,130 円	10,830 円



⑤ 募集要項配付・申請受付期間

配付期間:2026 年 1 月上旬発表予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

受付期間:2026 年 2 月上旬~2 月中旬 ***出願・合格発表前でも、左記期間内に申請が必要です。**

応募は原則、ウェブ申請とします。

***詳細は募集要項で確認してください。**

***インターネットが利用できない場合は、下記の【峰沢国際交流会館に関するお問い合わせ先】まで連絡してください。**

【外国人留学生】

- ① 入居資格: 本学に学部生・大学院生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生として在学・在籍する外国人留学生
(2026年4月入学予定者を含む)
*既に峰沢国際交流会館または留学生会館に合計2年間入居した者は除く。
*奨学機関から月額10万円を超える給付金(本学、派遣元機関からのものを含み、用途を研究に限るものを除く)を受給する者は応募できません。

- ② 入居期間: 1年以内(留学生会館と合算)
ただし、空室がある場合に限り、2年目の入居が許可される場合があります。

- ③ 選考・決定方法: 応募者多数の場合、抽選を行います。
抽選結果発表は2月中旬頃に学生支援課ウェブサイトで行います。
*優先順位等の選考基準については外国人留学生用の募集要項で確認してください。

- ④ 入居者の経費負担: 電気、水道、ガス等の料金は別途負担

部屋の種類	寄宿料(月額)	共益費(月額)	合計
単身室(12㎡)	5,700円	5,130円	10,830円



- ⑤ 募集要項配付・申請受付期間

配付期間: 2026年1月上旬発表予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

受付期間: 2026年1月上旬~2月中旬 ***出願・合格発表以前でも、左記期間内に申請が必要です。**

応募は原則、ウェブ申請とします。

***詳細は募集要項で確認してください。**

***インターネットが利用できない場合は、下記の【峰沢国際交流会館に関するお問い合わせ先】まで連絡してください。**

【峰沢国際交流会館に関するお問い合わせ先】

横浜国立大学 学務・国際戦略部 学生支援課 学生支援係
TEL: 045-339-3190 Email: gakusei.gakusei@ynu.ac.jp
〒240-8501 横浜市保土ケ谷区常盤台79-8



(2) 留学生会館【外国人留学生】

※2025年10月以降の入居募集を停止しました。

(3) 常盤台インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2019 年春に開館した常盤台キャンパス内にある新しい学生寮です。

部屋のタイプは、共同生活を通じ、多様な文化体験ができるシェアユニットタイプ（学生 8 人が共同生活）とプライベートタイプ（完全個室）があります。いずれも建物内で男女用エリアに分かれています。

住居	シェアユニット 112 戸（8.25～8.84 m ² ）	【共用部】 リビング、キッチン、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、TV、本棚、炊飯器、ダイニングテーブル、チェア、電子レンジ、冷蔵庫、食器棚、電気ケトル 【居室（個室）】 ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、デスクランプ、エアコン、天井照明
	プライベート 166 戸（16.20～16.74 m ² ）	ミニキッチン、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、洗濯機置き場（洗濯機は付いていません）、デスクランプ、天井照明
共用部	交流スペース、コインランドリー、駐輪場、バイク置場、防犯カメラ、エレベーター5 基	

① 入居資格：2026 年 4 月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生

② 入居期間：最長で修業年限までの年数内

③ 選考・決定方法：2026 年 2 月頃ウェブサイトで発表

④ 入居者の負担額

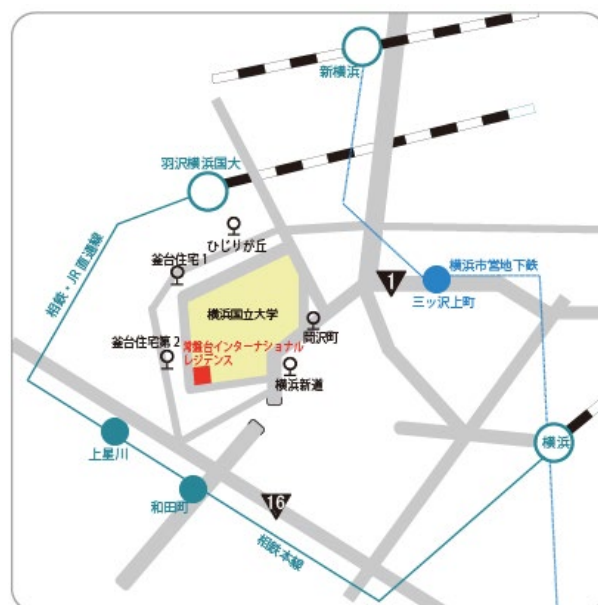
部屋の種類	賃料(月額)	共益費(月額)	水道光熱費(月額) *電気・ガス・水道インターネット代含	入居一時金
シェアユニット	32,500 円	6,300 円	15,510 円(税込)	55,000 円(税込)
プライベート	43,500 円	6,300 円	15,510 円(税込)	55,000 円(税込)

⑤ 募集要項配付・申請受付期間 2026 年 2 月発表予定

配付：常盤台インターナショナルレジデンスウェブサイト <https://tokiwadai-ir.jp>

⑥ お問い合わせ先 常盤台インターナショナルレジデンス管理事務所
TEL:045-900-1451 Email:tokuwadai@japt.co.jp
〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-9

<https://tokiwadai-ir.jp/>



(4) 大岡インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2010 年 7 月に開館した外国人留学生、日本人学生、外国人研究者、大学教職員が居住する、異文化共生ハウス。大学までの通学時間は約 1 時間。

建物 1 階にはコンビニエンスストアが入っており、地下鉄「弘明寺」駅および弘明寺商店街まで徒歩 3 分。

ワンルームは 1~4 階が男子用、5・6 階が女子用。1K は 1~5 階で男女混合となっています。

住居	ワンルーム 252 戸 (12.26~12.55 m ²)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫など ※キッチン、シャワー、ランドリーは共同になります
	1K 室 27 戸 (28.63~28.76 m ²)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、浴室、キッチンなど
共用部	カルチャーホール、各階キッチンラウンジ、各階シャワー・ランドリー室、喫煙所、駐輪場、バイク置場、1F コンビニ、オートロック、防犯カメラ、エレベーター 2 基など	

① 入居資格: 2026 年 4 月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生

② 入居期間: 最長で修業年限までの年数内

③ 選考・決定方法: 申込順(地理的状況、収入基準による選考基準無し、定員になり次第応募締切)

***詳細は 2026 年 2 月頃発表**

④ 入居者の負担額

部屋の種類	賃料(月額)	共益費(月額)	入居一時金
ワンルーム	33,000 円	11,000 円*インターネット代、水道代含	55,000 円(税込)
1K	60,000 円	7,350 円*インターネット代含	66,000 円(税込)

(ワンルーム): 電気代、コインランドリー・シャワー代は別途負担

(1K): 電気代、ガス代、水道代は別途負担

⑤ 募集要項配付・申請受付期間 2026 年 2 月発表予定

配付: 大岡インターナショナルレジデンスウェブサイト <https://int-residence.jp>

⑥ お問い合わせ先 大岡インターナショナルレジデンス管理事務所

TEL: 045-712-8870 Email: residence@japt.co.jp

〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-2

<http://www.int-residence.jp/>



2. 下宿・アパート等について

民間の下宿・アパート等を希望している方(学生寮の入居選考から外れた者を含む)のために、横浜国立大学生協同組合が学生生活に適した物件を紹介しています。

・資料請求・お問い合わせ先 横浜国立大学生協同組合

TEL: 045-331-5217

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-10

ウェブサイト: <https://www.univcoop.jp/ynu/index.html>

<https://sumai.ynu-coop.jp>

(横浜国立大学生協 物件情報検索サイト)

<https://www.univcoop.jp/ynu/index.html>



<https://sumai.ynu-coop.jp/>



入学検定料 コンビニ支払方法のご案内

入学検定料をコンビニエンスストアにて払い込む場合は、下記のコンビニ端末を操作の上、レジにてお支払いください。(8月1日からお支払いいただけます。)

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある
「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」より
お申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払



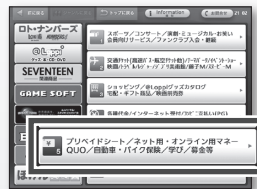
<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある
「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」より
お申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

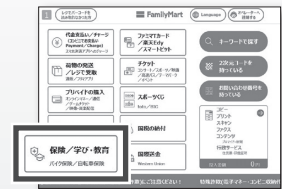
マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある
「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「保険／学び・教育」より
お申込みください。



保険／学び・教育

学び・教育

大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

横浜国立大学

をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

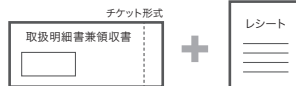
払込手数料	入学検定料(5万円未満)1件につき	税込 495円
-------	-------------------	---------

注) 前期日程及び後期日程の両方に出席する場合は、2件分の払込手数料がかかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

②お支払い後チケットとレシートの2種類を お受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または
「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



(ファミリーマート)

②お支払い後 レシート(受領書)を お受け取りください。



「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の場合、
「収納証明書」部分を切り取り、
「レシート」の場合、レシートをコピーして本体を
入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

セブン-イレブン
ローソン
ミニストップ



ファミリーマート



3 出願

【入試に関するお問合わせ先】 横浜国立大学 教育学部(教育学系事務部学務係) TEL 045-339-3261

<受付時間>月曜日～金曜日 9:00～17:00(12:45～13:45昼休み) ※祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

交通案内図

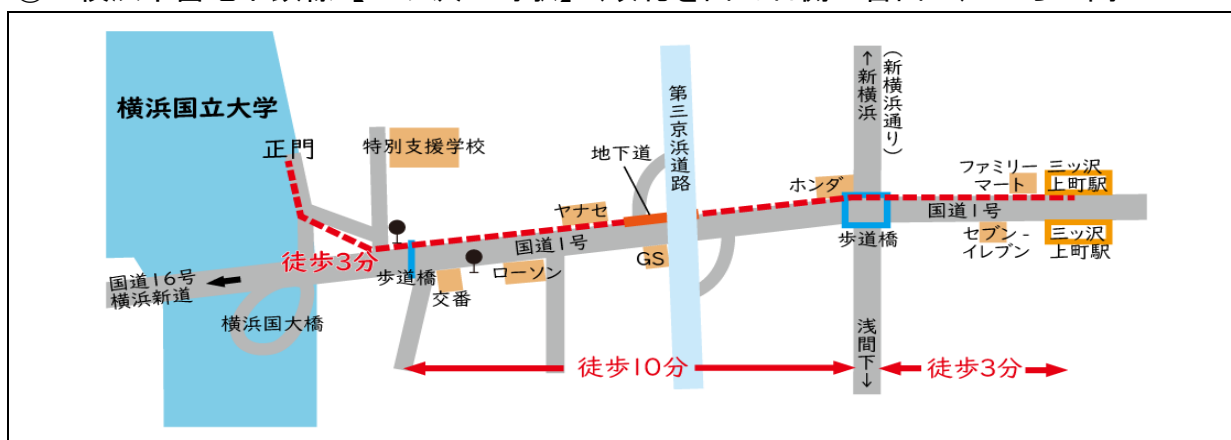
※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

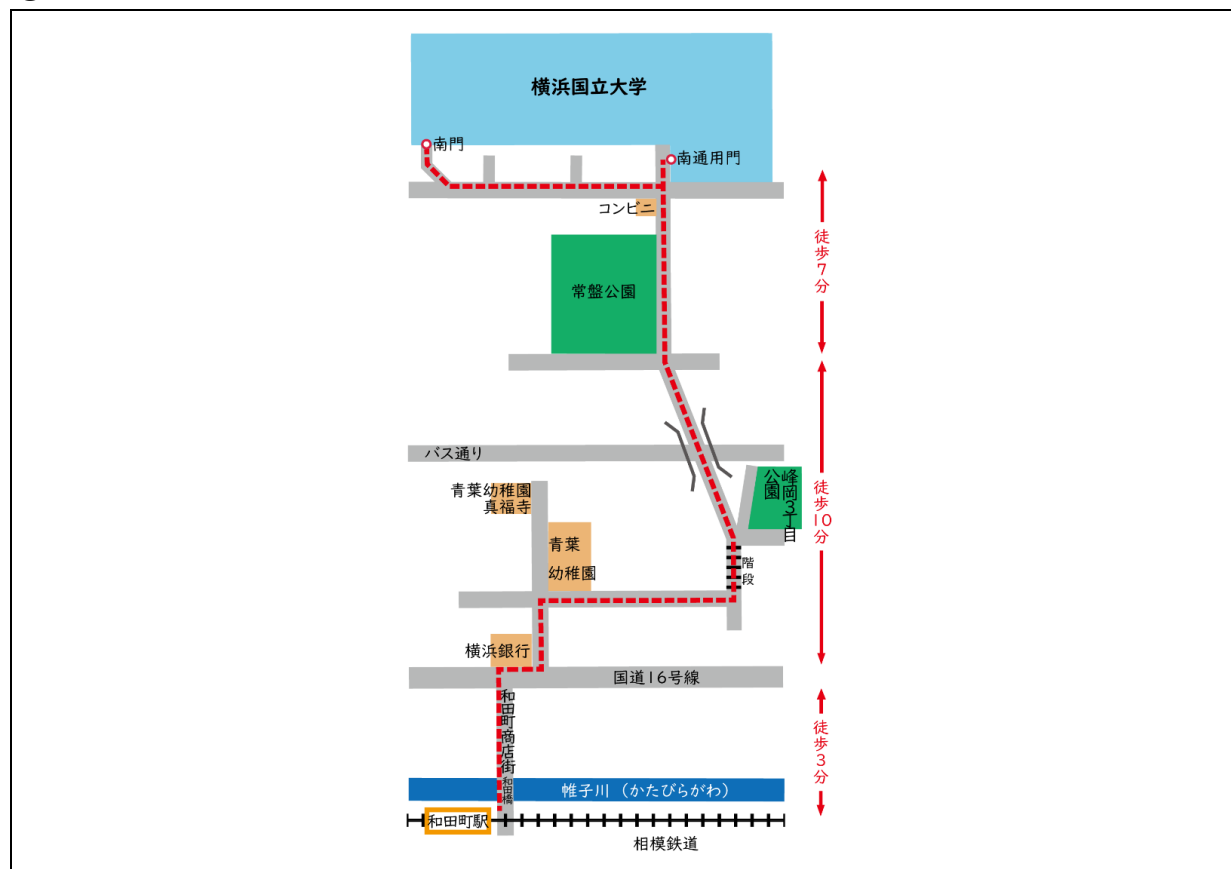
※羽沢横浜国大駅から本学までの経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

※バスは、運行本数や乗車人員に限りがあるほか、渋滞や悪天候の影響を受けやすく、予測した時間どおりに本学へ到着できないことがあるため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

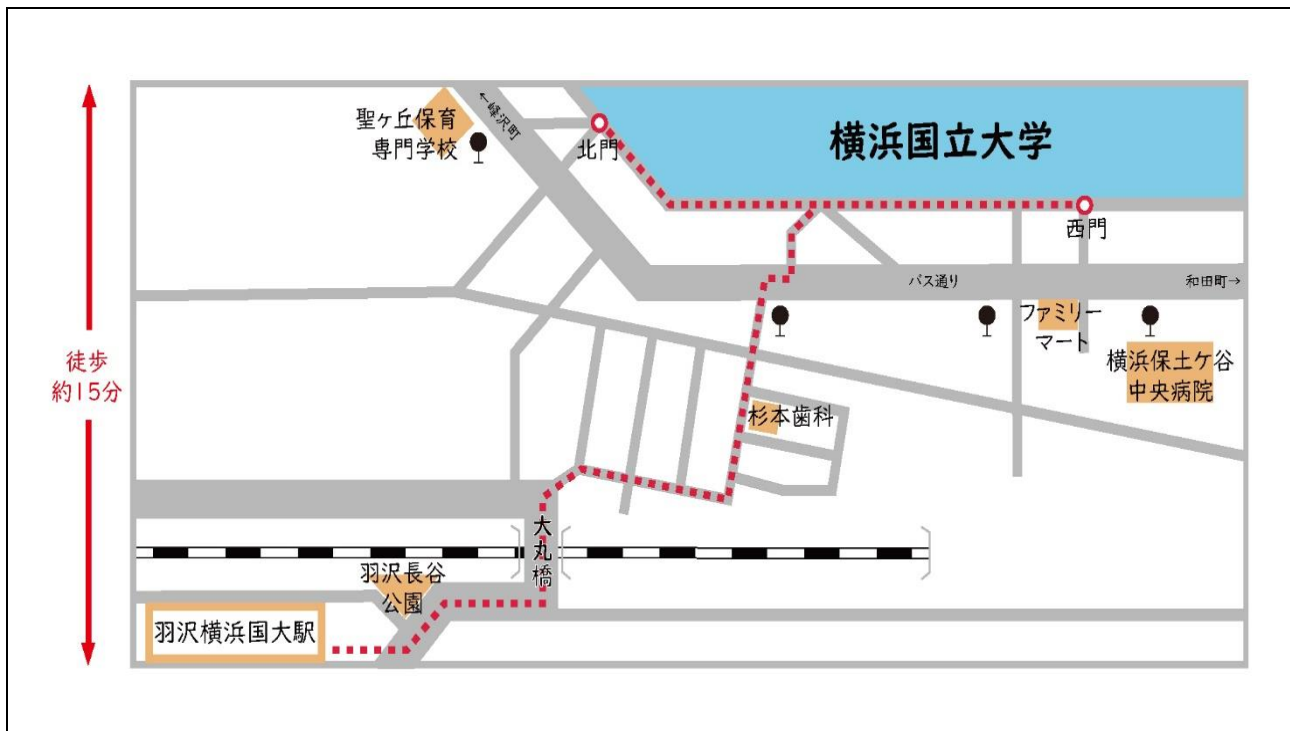
① 横浜市営地下鉄線【三ツ沢上町駅】（改札を出て右側2番出口）から正門へ



② 相鉄線 【和田町駅】から南門または南通用門へ



③ 相鉄線・JR線 【羽沢横浜国大駅】から西門または北門へ



④ バス 【横浜駅西口】から正門または大学構内（平日のみ）バス停留所へ

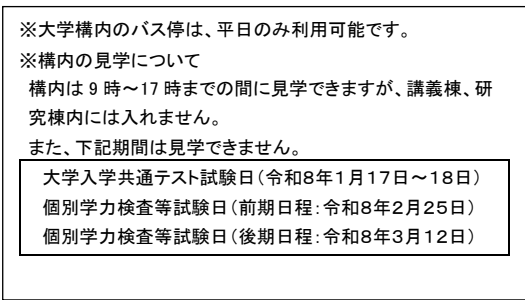


バス会社	乗り場	行き先	【下車停留所】
横浜市営バス	11 番	202 系統「(和田町経由) 横浜駅西口行」 208 系統「(市民病院経由) 横浜駅西口行」	岡沢町
	14 番	循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
	14 番	急行 329 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
相鉄バス	10 番	浜 10 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
	10 番	浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	岡沢町
神奈中バス	13 番	01 系統「中山駅行」	岡沢町

注 1 大学構内のバス停留所（横浜国立大学正門前、国大中央、国大北、国大西、大学会館前、国大南門）は、平日のみ利用可能です。

注 2 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線も含まれます。
バスの発車時刻等は、各バス会社のウェブサイト等で確認してください。

キャンパス案内図



横浜国立大学正門前

1 ↓
国大中央 →→ 大学会館前
2 ↓ ↑ 5 6
国大北 ↓ 7
国大西 ↑ 4 国大南門
【折り差し】

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害、疫病・感染症の影響等により、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のウェブサイト（ニュース&インフォメーション）にてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

教育学部ウェブサイト <https://www.edu.ynu.ac.jp/>

ChatGPTをはじめとする生成AIの利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPTなどの生成AIに対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いいたします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いいたします。

注意事項

生成AIに入力した情報は、AIの学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AIの出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

注意!!

試験日や下見時に、本学周辺（特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段等）や最寄駅（和田町、三ツ沢上町、羽沢横浜国大、横浜）で本学職員を装って受験者を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させた後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、被害に遭わないように十分注意してください。

問い合わせ先

横浜国立大学教育学系事務部学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号

〔窓口取扱時間〕 8:30～12:45、13:45～17:00

※土日・祝日、夏季休業期間（8月12日～18日）及び年末年始（12月26日～1月3日）を除く。

TEL : 045-339-3261

FAX : 045-339-3264

E-mail : edu.gakumu@ynu.ac.jp

※ 問い合わせは、志願者本人が行うこと。